

# 広報 ひこね

2003

3/1



荒神山中腹から多景島を望む



岡村さん（酒蔵で）

表紙では、「住みたい 住み続けたいまち」彦根の表情を写真で紹介しています。写真をお持ちでない場合は、**市情報政策課**広報係で撮影します。☎22-1411（内線431）へ気軽に連絡してください。

最近、そういう関係がなくなっちゃったのでしようか。今の子どもたちはかわいそうに思います。

長くびわ湖の近くに住んでいます。晴れた日に高いところから眺めると、その美しさに改めて驚きます。子どもの時には、泳いだり、魚をつかんだり、いつもびわ湖で遊んでいました。当時は水が澄んで美しく、水に入ると魚が足を突きに来るのが見えたものです。いつも同じように遊んでいても、いつかに飽きることがなかったのは、子どもがみんな兄弟のように仲がよかったからでしょうか。学年を超えて助け合い、上の子が下の子の勉強を教えるのも当たり前でした。だれとでも、何でも話せる関係で、いじめなど考えられません。

近藤新三さん（三津屋町）

## 表紙のことば